



## CHAPTER 2

# リモート管理の設定

この章では、到達不能の Cisco Nexus Virtual Services Appliance のリカバリで使用する、スタートアップ コンフィギュレーションでのリモート管理の設定方法について説明します。内容は次のとおりです。

- 「リモート管理の概要」(P.2-1)
- 「リモート管理の設定」(P.2-2)
- 「その他の関連資料」(P.2-3)
- 「リモート管理機能の履歴」(P.2-4)

## リモート管理の概要

冗長 Cisco Nexus Virtual Services Appliance のスタートアップ コンフィギュレーションにリモート管理を追加することができ、そのためペアの 1 つが到達不能になった場合にもう一方が自動的にリカバリを試みることができます。

冗長 Cisco Nexus Virtual Services Appliance が管理および制御インターフェイスを介して相互に通信できない場合、同時にアクティブになることができます。これは、スプリットブレイン競合と呼ばれます。Cisco Nexus Virtual Services Appliance は、ハイ アベイラビリティを使用してピア スイッチからリポートできません。

複数の Cisco Nexus Virtual Services Appliance のうち 1 つが到達不能になった場合、スタンバイであればそのピアはアクティブになります。設定済みのリモート管理がある場合、新しくアクティブになった Cisco Nexus Virtual Services Appliance は、CIMC がピアに到達可能であれば CIMC インターフェイス上の mgmt0 ポートを介し、到達不能なピア スイッチの電源の再投入を試行できます。アクティブな Cisco Nexus Virtual Services Appliance は、スタンバイが失われた場合、リポート コードをただちに開始します。スタンバイ Cisco Nexus Virtual Services Appliance は、リポート コードを開始する前に 60 秒間待機します。

冗長 Cisco Nexus Virtual Services Appliance 間の通信に関する詳細については、『Cisco Nexus 1000V High Availability and Redundancy Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』参照してください。

CIMC の詳細については、「Cisco Integrated Management Controller」(P.1-4) を参照してください。

# リモート管理の設定

CIMC ソフトウェアの `mgmt0` ポートを介して到達不能な Cisco Nexus Virtual Services Appliance ピアスイッチのリカバリで使用するスタートアップ コンフィギュレーションでのリモート管理を設定するには、この手順を使用できます。

## はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- Cisco Nexus Virtual Services Appliance のインストール時に、Cisco Integrated Management Controller (CIMC) を事前に設定すること。詳細については、『*Cisco Nexus Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide*』を参照してください。
- Cisco Nexus Virtual Services Appliance に関する次の情報を持っていること。
  - CIMC 管理ポートの IP アドレス
  - CIMC 管理者ログインとパスワード
- この手順に、プライマリおよびセカンダリ Cisco Nexus Virtual Services Appliance 両方の、リモート管理設定手順があること。
- アクティブ Cisco Nexus Virtual Services Appliance に EXEC モードでログインしていること。

## 手順の概要

1. `config t`
2. `nexus1010-system remote-mgmt primary ip ipaddr username username password password`
3. `nexus1010-system remote-mgmt secondary ip ipaddr username username password password`
4. `show running-config`
5. `copy running-config startup-config`

## 手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<pre>config t</pre> <p><b>Example:</b>  <code>switch# config t</code>  <code>switch(config)#</code></p>	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	<pre>nexus1010-system remote-mgmt primary ip ipaddr username username password password</pre> <p><b>Example:</b>  <code>switch(config)# nexus1010-system</code>  <code>remote-mgmt primary ip 172.23.231.51</code>  <code>username admin password *****</code>  <code>switch(config)#</code></p>	プライマリ Cisco Nexus Virtual Services Appliance の実行コンフィギュレーションのリモート管理を設定します。 <p><i>ipaddress</i>: CIMC 管理ポートの IP アドレス</p> <p><i>username</i>: CIMC 管理ソフトウェアの管理者ユーザ名</p> <p><i>password</i>: CIMC 管理ソフトウェアの管理者パスワード</p>

	コマンド	目的
ステップ3	<pre>nexus1010-system remote-mgmt secondary ip ipaddr username username password password</pre> <p><b>Example:</b></p> <pre>switch(config)# nexus1010-system remote-mgmt secondary ip 172.23.231.52 username admin password ***** switch(config)#</pre>	<p>セカンダリ Cisco Nexus Virtual Services Appliance の実行コンフィギュレーションのリモート管理を設定します。</p> <p><i>ipaddress:</i> CIMC 管理ポートの IP アドレス</p> <p><i>username:</i> CIMC 管理ソフトウェアの管理者ユーザ名</p> <p><i>password:</i> CIMC 管理ソフトウェアの管理者パスワード</p>
ステップ4	<pre>show running-config</pre> <p><b>Example:</b></p> <pre>switch(config)# show running-config</pre> <pre>!Command: show running-config !Time: Sat Jun 25 03:01:55 2011</pre> <pre>version 4.2(1)SP1(2) no feature telnet</pre> <pre>username adminbackup password 5 \$1\$Oip/C5Ci\$oOdx7oJS1BCFpNRmQK4na. role network -operator network-uplink type 1 nexus1010-system remote-mgmt primary ip 172.23.231.51 username admin password ** ***** nexus1010-system remote-mgmt secondary ip 172.23.231.52 username admin password ***** interface mgmt0 ...</pre> <pre>switch(config)#</pre>	<p>確認のためのリモート管理の設定を含む、実行コンフィギュレーションを表示します。</p>
ステップ5	<pre>copy running-config startup-config</pre> <p><b>Example:</b></p> <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	<p>リブート後に永続的な実行コンフィギュレーションを保存し、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーして再起動します。</p>

## その他の関連資料

システムレベルの HA 機能の実装に関する詳細については、次の各セクションを参照してください。

- 「関連資料」 (P.2-4)
- 「標準」 (P.2-4)
- 「RFC」 (P.2-4)

## 関連資料

関連項目	参照先
CIMC	「Cisco Integrated Management Controller」 (P.1-4)
CIMC の設定	『Cisco Nexus Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide』
仮想サービス ブレードの設定	「仮想サービス ブレードの設定」 (P.4-1)
アップリンク設定	「ネットワーク アップリンク設定」 (P.3-1)
ハードウェアのインストールおよびアップリンク接続	『Cisco Nexus Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide』
ソフトウェアのインストールおよびアップグレード	『Cisco Nexus Virtual Services Appliance Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SP1(5.1)』
スプリットブレインと通信の切断	『Cisco Nexus 1000V High Availability and Redundancy Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(5.1)』
Cisco Nexus Virtual Services Appliance のすべてのコマンドのコマンド構文、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト値、使用上の注意、および例	『Cisco Nexus Virtual Services Appliance Command Reference, Release 4.2(1)SP1(5.1)』

## 標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

## RFC

RFC	タイトル
この機能によってサポートされている RFC はありません。	—

## リモート管理機能の履歴

ここでは、リモート管理のリリース履歴を示します。

機能名	リリース	機能情報
リモート管理	4.0(4)SP1(1)	この機能が導入されました。